

令和 2 年度 学校評価報告書

学校教育目標			重点目標					
時代がどのように変わろうとも、心豊かにたくましく生きていく人を育てる。 (1) ふるさとに学び、ふるさとを愛し、地域に貢献する人づくり。 (2) 学業と部活動に力一杯取り組み、高き理想に挑戦する人づくり。 (3) 夢をかたり、夢をはぐくみ、夢をかなえる人づくり。			(1) 主体的に学習に取り組む姿勢を育み、進路目標に応じた学習の充実により、学力向上をめざす。 (2) 互いを尊重する思いやりの精神とともに、自他の命や人権を大切にすることを育む。 (3) キャリア教育を通して、学ぶ意義や将来の目標を見出し、キャリアプランニング能力を育むとともに、自立した社会人に必要な能力を培う。 (4) 地域と連携した活動により、ふるさと意識を育むとともに、人々との絆を深め、社会の一員としての自覚を高める。 (5) グローバル化の進展に対応して、語学力やコミュニケーション能力を高めるとともに、主体性や創造性、チャレンジ精神をもって行動する力を育む。 (6) 災害から得た教訓を生かし、助け合いの精神やボランティア精神を育むとともに、山崎断層帯に位置する学校として防災教育を推進し、災害への対応力を高める。 (7) 「ノー部活デー」、「ノー会議デー」、「定時退勤日」を完全実施し、勤務時間の適正化に努める。					
教育方針								
(1) 自らの可能性を信じ、困難や逆境に立ち向かう人を育てる。 (2) 郷土を愛し、地域の人々と支え合い協力して、兵庫の発展に貢献する人を育てる。 (3) 伝統と文化を尊重するとともに、多様な価値観を理解し、国際社会に貢献する人を育てる。 (4) 思いやりと寛容の心をもち、命と人権を大切にすることを育てる。								
令和 2 年度学校評価項目		評価の平均	参考:令和元年度の平均	令和 2 年度の取組と課題		学校評議員・保護者等の意見(抜粋)		
学校運営	学校開かれた つくり	各種の通信やホームページ、オープンハイスクール等により生徒・保護者・地域に情報を発信している。	3.21	3.08	・本校Webページのブログ欄の更新頻度をあげ、情報発信に努めている。 ・昨年度に引き続き、「山高タイムズ」(学校便り)を定期的、継続的に発行し、宍粟市内各中学校や市役所、加生自治会館、神姫バス山崎停留所等に配付し情報発信に努めている。 ・各学校行事の様子を動画により情報発信し、地域へのPR増強を図る必要がある。	・「山高タイムズ」「ゆずりは」について、インターンシップ等の学校がお世話になった事業所に発信する事も、PRを図る上で良いのではないかと。 ・「山高タイムズ」等を定期的にしかも内容も充実した形で発行され、地域への情報発信によく努力されている。 ・今年は様々な行事が中止になったり、保護者も参加できることが少なくとても残念でした。体育祭も新しい思考がこなされ、You Tube で発信して下さるなど配慮して下さり子ども達の生き生きとした姿を観ることができとても嬉しかったです。 ・ホームページの行事予定の更新を早くしてほしい。		
		学校評議員の意見、保護者や地域の声を学校改善に生かしている。	2.94	2.83				
	連校携内	各学校行事の反省を整理し、課題を共有して工夫・改善に取り組んでいる。	2.95	2.82				
	生徒指導	教職員が生徒指導の方針・目標を理解し、組織的な生徒指導を展開している。	2.82	2.72			・毎日の交通指導や、登下校のマナー指導については全職員が協力して行っている。ルール、マナー違反の数は減少傾向にあり、地域住民からの苦情も減少している。 ・毎朝、職員が生徒昇降口に立ち、挨拶の啓発に努めている。 ・いじめ防止の啓発を進める一方で、毎学期に2回、全生徒に「いじめアンケート」を実施し、申告のあった事象に即座に対応している。また、今年度は保護者にも「いじめアンケート」を行い、いじめの早期発見、いじめ防止に努めている。 ・保護者との信頼関係構築のため、欠席生徒への連絡等を含め、きめ細かく連絡を取るよう努めている。	・教職員の皆さんの生徒指導の熱心な取組が地域の方々や保護者の皆さん方に十分に伝わっていないように感じます。「山高タイムズ」などにも、生徒指導や進路指導の取組をうまく紹介されると思います。 ・一部の生徒であるが、登校中道いっばい広がって歩いたり、車が通る時でも端によらずにいる生徒がいます。 ・生徒指導に関しては、対応も早く私の知る限りでは良くしていただいている様に思います。
		個人面談、家庭との連携を密にすることで、生徒の内面理解に基づく生徒指導を実践している。	2.89	2.90				
		ホームルーム活動や生徒会活動を活性化することで、生徒相互の良好な人間関係を築いている。	2.94	2.86				
		本校いじめ防止基本方針に基づき、いじめに対して組織的に取り組み、未然防止や早期発見を図っている。	3.04	3.01				
	進路指導	進路指導部と学年・教科が連携し、進路実現に向けて計画的・組織的な指導を展開している。	2.86	2.85			・生徒が安易な方向に流れることがないよう、卒業後の社会生活を意識した進路実現に向け力をいれた。 ・進路ガイダンスについては、情報を適切かつ的確に得られるよう年間複数回行った。中でもJUMP UP SHISO(ジャンプ・アップ・宍粟)など宍粟市との連携事業について参画と協働の強化に努めた。 ・補習授業の充実をはかり、大学進学希望の生徒の学力向上をめざす必要がある。	・多様な進路希望に応じた進路指導は困難なことが多く、手が回りきらないことが多々あると思いますが、個々の生徒さんのニーズにできるだけ応える進路指導に一層の努力を期待しています。 ・進学指導の充実を図っていただきたい。
		就職・進学に関するガイダンスを充実し、進路意識や進路実現への意欲を高めている。	2.98	2.93				
		企業見学・インターンシップやオープンキャンパスにより進路動機や勤労観・職業観を醸成している。	3.00	2.95				
学校運営	教員の資質向上	研究授業や授業公開、生徒による授業評価を実施して教科指導力の向上に努めている。	2.64	2.63	・研究授業、授業公開、授業評価の充実を図る。 ・県教育委員会が主催する「ひょうご学力向上サポート事業」に参加し、研究協議会を実施した。 ・若手教員が多いことから、OJT(on the job training 職場で実務をさせること)による職業教育の充実を図り、学校現場での教員としての資質の向上をめざした。	・多くの教員がおられるので互いに良い面を参考にしながら指導力の向上に努めていただきたい。		
	主体的に研修会に参加するなど、課題意識をもって自己の研鑽に努めている。	2.78	2.68					
教育課程	た個別に 学習意欲 の育成 を 目指す	生徒の興味・関心・進路目標に配慮した選択科目や類型を設定し、各科の特色化を図っている。	2.97	2.84	・県教育委員会の学校イノベーション事業によりWiFiアクセスポイント電子黒板機能付き短焦点プロジェクター等が各ホームルームに設置され、ICT教育の充実を目指している。すべての教員が積極的にICT機器を活用した授業の充実に取り組んでいる。 ・来年4月に設置する「森と食料」の教育課程の充実を図るとともに、施設設備の整備を行う。	・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休校により授業が減ってしまったのでその分補習をしてほしい。 ・オンライン学習を増やしてほしい。		
	授業を工夫し、基礎・基本の定着と学習意欲の伸長を図っている。	2.84	2.77					
	体験的・問題解決的な学習の展開を通して、自ら考え、判断し、行動する力を育成している。	2.81	2.71					
課題教育	活課 動外	部活動の充実を通して、技能の向上とともに健やかな体・豊かな心の育成に努めている。	3.01	3.05	・新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中、短時間で効果のある指導をめざす。 ・令和2年度は、ぼうさい甲子園で「withコロナ賞」を受賞。新型コロナウイルス感染拡大の中での防災について研究した。 ・例年12月に、地元自治会と連携して実施している「防災体験活動」では、規模を縮小して実施した。 ・防災教育に関しては、今後も学校全体として取り組んでいく。 ・日頃よりSNSによるトラブルの防止や情報モラルについて生徒に指導している。また、情報モラル講演会を行い、スマートフォンの取り扱いマナーの徹底に努めた。 ・いじめアンケートやQU検査の実施により生徒間の人間関係を把握し、クラス内の円滑な人間関係の構築に努めている。 ・ジェンダーフリーの概念により、本年度より男女混合名簿を導入した。また、制服においても性別関係なくスラックス、スカートを着用できるようにした。 ・昨年度から継続して、長野市復興支援ボランティア活動(りんごプロジェクト)を実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大によりボランティア活動が制限される中、学年、生徒会等の集団で清掃活動や花植え活動等を行った。	・部活動の予定の日程や時間を保護者にもしっかりと伝えてほしい。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、防災体験活動等の防災・安全に関する行事が大々的にできなかったが、来年度以降もしっかりと続けてほしい。 ・土曜日の部活やテスト開始時間に学校に到着できるバスが無く、毎週送迎と仕事の調整に苦しんでいます。せめてテストの時だけでも時間に到着できるバスが運行されるとありがたいです。 ・平成30年度3月にはスポーツ庁が定めた活動時間及び休業日週2日以上等、山崎高校としては遵守されているのでしょうか。		
	安全 防 災 教 育	防災・安全教育を充実し、職員・生徒の危機意識を高め危機管理の実践力・組織力を高めている。	3.10	3.14				
	教情 育報	個人情報の取り扱いや情報発信が社会に与える影響を理解し、情報モラルに関する意識を高めている。	2.99	2.88				
	教人 育権	各教育活動を通して、互いの人権や命を大切にすることを育てている。	2.97	2.87				
	活体 動験	ボランティア等の体験活動を充実し、自己有用感や豊かな人間性・社会性を育てている。	2.90	3.03				

※「評価の平均」の項目は、生徒・保護者・職員のアンケート(1=そう思わない 2=あまり思わない 3=どちらかというと思う 4=そう思う)の平均値です。